

## 平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	奈良井宿のおもてなし商品開発事業
事業主体 (連絡先)	桜香会 長野県塩尻市大字奈良井472
事業区分	(6)ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,122,025円 (うち支援金: 772,000円)

### 事業内容

- 地域内で情報共有 ※〈 〉内は関係者人数  
(1)期日 4月25日(火)  
(2)方法 奈良井宿観光協会総会において説明
- 資源確保の調整(フキ確保調整等)  
(1)期間 4/25: 自宅訪問7件  
5/10.14: フキ畑等現地確認  
5/17: 自宅訪問2件、フキ収穫(仕入れ)  
5/19: フキ収穫(仕入れ)  
5/22: 自宅訪問1件  
5/23: フキ収穫(仕入れ)  
5/24: フキ収穫  
6/15: フキ収穫(仕入れ)  
(2)方法 地域内で栽培している農家等と調整(1件約30kg約10件の農家等から確保)
- 商品開発、評価、改良等  
(1)期間 5月～2月  
(2)方法 地域資源製品開発支援センター、しあわせ信州食品開発センター及び民間の専門家(地域資源を商品化した実績のあるデザイナー)に商品化の実践を支援していただいた。また、檜川地域おこし組合加工部、地域住民(飲食店、お土産屋、宿泊施設、観光協会関係者等)と商品開発等について話し合いを行い、商品の磨き上げを行った。  
【①地域資源製品開発支援センター及びデザイナー関係】※委託  
5/22: 商品アイデアの創出及び商品コンセプト(価値、ターゲット、シーン等)の設定並びにデザイナーの選定  
5/26: 元気づくり支援金活用に関する打合せ  
7/12: 商品アイデアの創出及び商品コンセプト(価値、ターゲット、シーン等)の設定  
10/3: ロゴ、ラベル、ネーミング、パンフレット、ポップ等のデザイン検討及びマーケティング戦略検討  
10/18: ロゴ、ラベル、ネーミング、パンフレット、ポップ等のデザイン検討  
11/24: 各種デザインの提案及び検討  
12/25: 各種デザインの提案及び検討並びにプロモーション展開手法の検討並びにマーケティング戦略検討  
2/9: 最終デザイン確認及び検討並びにプロモーション展開手法の検討並びにマーケティング戦略検討



【フキ収穫】



【開発センター、デザイナー打合せ】



【檜川地域おこし関係】



【檜川地域おこし関係】

(別記様式第12号) (第3の8関係)

【②しあわせ信州食品開発センター関係】

4/14：施設視察及び相談  
9/21：フキ物性・成分試験依頼及び打合せ  
12/8：モニタリング調査（お菓子及び漬物）  
※参加者27人からアンケート実施

【③檜川地域おこし組合加工部関係】

4/24：地元野菜等を活用した商品の現状の把握等  
5/14：委託内容打合せ  
5/18：試作品開発  
5/24～25：試食会用お菓子開発 300g×100袋 ※委託  
5/31～6/2：試食会用漬物開発  
（味噌漬け 300g×70袋、ピクルス 300g×30袋） ※委託  
6/22～23：商品開発（お菓子 300g×250袋） ※委託  
6/22～24：商品開発（ピクルス 300g×250袋） ※委託  
※試食会用及び商品開発したお菓子・漬物は、一部販売

【④桜香会活動関係】

5/10：フキ仕入れ状況確認、試作品検討  
5/11：ラベル雛形作成  
5/17～25：試作品開発（お菓子 300g×12袋、味噌漬け 300g×3袋、ピクルス 300g×5袋）  
5/18：試作品開発  
6/2：味噌漬け商品の発酵確認（試食会運用断念）  
6/3～4：試食会（奈良井宿場祭）  
6/7～8：新聞取材（信濃毎日新聞、中日新聞）  
6/13～14：NHKふるカエ系「ハルさんへの休日」  
収録・PR※7/5午後11時～放映  
6/27：ラベル作成・ラベル張り  
6/28：宿場内宿泊施設、お土産屋、飲食店に商品配布  
7/6：宿場内宿泊施設に商品配布  
11/5：試食会（皇女和宮御下向行列）  
12/25：ラベル等最終デザイン選考  
3/9：平成29年度地域資源製品開発支援センター成果発表会（事例発表）

4 販路開拓

- (1) 地元お土産屋、飲食店、宿泊施設へのPR (6/28、7/6)
- (2) 各種イベント、展示会、販売会でのPR  
（6/3 奈良井宿場祭、6/4 奈良井宿場祭、11/5 皇女和宮御下向行列（奈良井宿）、2/9 商談会）
- (3) 営業ツールの作成（10月～）
- (4) インターネットを活用したPR（3月～）
- (5) パフレット配布（3月～）※地域住民、飲食店等

5 その他活用できる資源の掘り起こし及び研究

- (1) 先進地視察 期日：9/21 工房アプリコ（千曲市）
- (2) 資源の掘り起こし 期日：1/26

6 地産地消の普及

地域住民を対象とした料理教室を企画・開催

- (1) 期日 1/26
- (2) 方法 フキを使った調理教室座の開催



【食品開発センター関係】



【桜香会活動関係】



【販路開拓関係】



【先進地視察】



【地産地消の普及】

(別記様式第12号)(第3の8関係)

## 7 中山道を通じた関連市町村との交流会(会議意見交換会)の開催

### (1) 街道を活用した広域観光の推進について検討する会議、交流会等の開催

信州中山道セミナーの開催

期日: 3月21日(火)

参加対象団体: 県内25宿関係団体(商工会議所、行政、観光協会等約40団体)

講師: 角田 薫

クラブツーリズム(株)スポーツ旅行センター街道あるき担当

### (2) 中山道ロゴマークの活用及びPR

街道のイメージアップ(誘客促進)及び認知度の向上を図るために、69宿関係団体等にPRを行った。

#### 【他団体等の活用例】

- ・ 小さな旅(木曾観光連盟発行)
- ・ Ms Life 木曾特集(栲信濃毎日新聞)
- ・ 中山道六十九次を歩く募集ツアーパンフレット(栲山陽新聞事業者)
- ・ 広報誌「佐久広域63号」(佐久広域連合)

### (3) 中山道のPR

#### 4 展示事業

### (4) 「街道を歩こう」、「皇女和宮行列写真展」のとおり

## 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 1 地域の食文化の継承と地域に対する誇りの醸成  
地域の食文化を今一度見直すきっかけとなり、新たに観光的な価値を見いだすことにより、住民全体(子供も含む)に地域に対する誇りを醸成することに繋がっている。
- 2 観光に対する理解の向上  
宿泊施設、飲食店等が試食用に配布した資源を使ったメニュー等を提供したことにより、地域が一体となって資源を発信することができた。また、地域住民にも広く試食していただいたことで、住民の間でも「食」を活用した観光に対する理解が深まった。
- 3 消費者との距離の短縮、商品価値の把握  
試食会や地元での販売を通じて、消費者のニーズを把握する機会を持つことができた。消費者からの好評を受けたことで、関係者のモチベーションが向上するとともに、商品改善のヒントを得る機会となった。また、商品購入希望者が多く、問い合わせも多かったことから、次年度以降の消費が見込まれる。(リピーターの獲得)
- 4 地元食材や日本の文化の国際的なアピール  
外国人観光客が増加している中、地場食材を提供することにより、地域の魅力を、食を通じて体験していただく機会となった。
- 5 高齢者への生きがいの場の提供  
地元高齢者から、取り組みへの賛同の声を多数いただき、資源の提供に協力できる名乗りをあげていただいた。

### 【目標・ねらい】

- ① 地域内での情報共有
- ② フキ(地域資源)のPR
- ③ 商品開発(確立)
- ④ 地域の観光に対する理解の向上
- ⑤ 地産地消の普及

### ※自己評価【B】

#### 【理由】

- ・ 住民全体で発信することに工夫が必要(地域内消費含む)
- ・ 商品を購入するため外から奈良井宿に訪れていただくためのPRに工夫が必要
- ・ フキのPRは様々なシーンで実施した
- ・ 商品が完成した(商品確立)

(別記様式第12号) (第3の8関係)

## 6 空き家の活用

地域内での開発→販売→消費につなげるべく、他団体の視察等を行った中で、空き家を活用した商品開発の拠点施設の必要性を感じ、次年度に向けた検討を十分行うことができた。また、空き家所有者等と活用について協議することができた。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- 1 フキ（トウブキ）の生産量を増やすことで遊休農地の活用と、地域住民の雇用につなげていく。
- 2 空き家を活用して地域内に拠点施設を設置することで、域内流通の仕組みを確立したい。  
※当面は、奈良井宿に来ると商品が購入できる仕組みを目指す（地域活性化）
- 3 地域全体で地産地消に取り組むことにより、地域の食文化を発信し、フキ＝奈良井を目指したい。
- 4 季節限定にはなってしまうが、フキの収穫等体験をする場をつくることで、来訪者の滞在時間の増加を図りたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある